

人口45万人を突破、新幹線も

「日本海側最大の都市」にまで成長

対開 市民の皆さん、明けましておめでとうございます。お正月はいかがお過ごしでしょうか。新潟も今年で九十歳になりました。当時わずか四万三千人だった新潟も、今や四十万人を突破、日本海側最大の都市にまで成長しました。ここに



期待の上昇新幹線は、五下り年開通を目ざして、すでに新十日間の走行テストが始まっています。北陸 問題自動車道も新十日開通に近づき、新十日間に原形が移動して、信濃川に架かる五の橋子蔵大橋の建設も進んでいます。こうしてプロジェクトの進行に伴って、新潟市の景観も、都市としての機能も、そして私達市民の生活環境も大きく変わろうとしています。



新十日は私にとりまして、町の広さがちよとい感じ、疎外感がなく、とても親しみやすい感じがします。

出演者
北村四郎さん(前新潟大学学長)
新潟市の都市問題懇談会の委員長として、30年後の新潟の基本プラン作成にあたる。
池 政栄さん(新潟市郷土資料館館長)
新潟生まれの新潟育ち。新潟をこよなく愛し、巧みな話術で新潟の歴史を語る。
白井博子さん(主婦)
ご主人の転勤で、3年前千葉県の船橋市から来港。中央公民館の「女性史クラブ」で、新潟の女性の歴史を勉強中。
司会 対開英洋(BSNアナウンサー)

7年開通を目ざして、すでに新十日間の走行テストが始まっています。北陸 問題自動車道も新十日開通に近づき、新十日間に原形が移動して、信濃川に架かる五の橋子蔵大橋の建設も進んでいます。こうしてプロジェクトの進行に伴って、新潟市の景観も、都市としての機能も、そして私達市民の生活環境も大きく変わろうとしています。

新十日は私にとりまして、町の広さがちよとい感じ、疎外感がなく、とても親しみやすい感じがします。

新十日は私にとりまして、町の広さがちよとい感じ、疎外感がなく、とても親しみやすい感じがします。

新十日は私にとりまして、町の広さがちよとい感じ、疎外感がなく、とても親しみやすい感じがします。

ふるさと“新潟”を語る

昔のすがた、未来のすがた

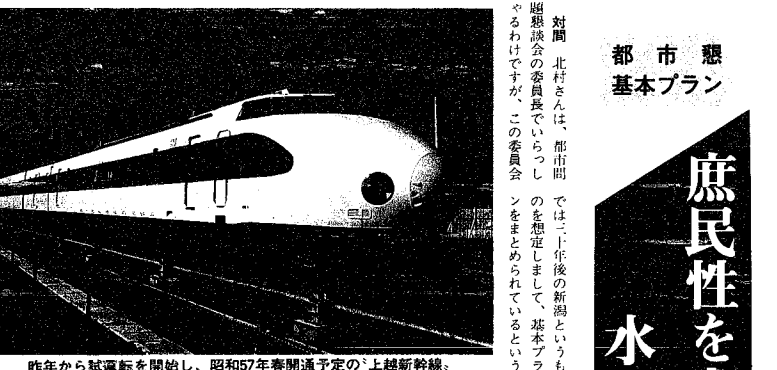


新潟市は人口45万人を超え、日本海側最大の都市として、ますます発展を続けています。この私たちの町「新潟」を住みよい町とするために、これからどんな町づくりを進めたらよいか。今日は、都市問題懇談会から出された30年後の新潟のイメージを折り込みながら、「ふるさと新潟・未来の新潟」を3人の皆さんから語っていただきました。

堀直寄と川村 奉行が基礎作り
対開 現在の新潟の基礎づくりは川村奉行の力にあずかっています。川村は、この地を治めた。川村は、この地を治めた。川村は、この地を治めた。

税関を基にして みなと、史跡公園を
対開 今、都市問題懇談会のお話をお聞きして白井さん、池さん、海も、山も近い白井さん、海も、山も近い白井さん、海も、山も近い白井さん。

日本第一の 住み良い町に!
対開 自然環境を大切に。自然環境を大切に。自然環境を大切に。自然環境を大切に。自然環境を大切に。



昨年から試運転を開始し、昭和57年春開通予定の上越新幹線。

都市 懇 基本プラン
対開 北村さんは、都市問題懇談会の委員長として、30年後の新潟の基本プラン作成にあたる。北村さんは、都市問題懇談会の委員長として、30年後の新潟の基本プラン作成にあたる。

島部に二つの環状線を
対開 市内のいわゆる島部の真ん中に、二つの環状線を二つ造り、外から来た車は、まずこの環状線に入り、町中に行くのに一番近い環状線を選んで降る。なるべく余計な町中を走らない、という考えです。

城下町や 農村でない 庶民の町
対開 そのへんは、庶民の町というところからくるわけなんです。城下町や農村でない庶民の町。庶民の町。庶民の町。

市民インタビュー
新潟の町をどう思いますか。新潟の町をどう思いますか。新潟の町をどう思いますか。

住み良い町とは 親切、清潔で、 平和な町
対開 新潟の町に伝統的にある親切、清潔、平和な町。新潟の町に伝統的にある親切、清潔、平和な町。